

男女共同参画ってなあに？



Part 11

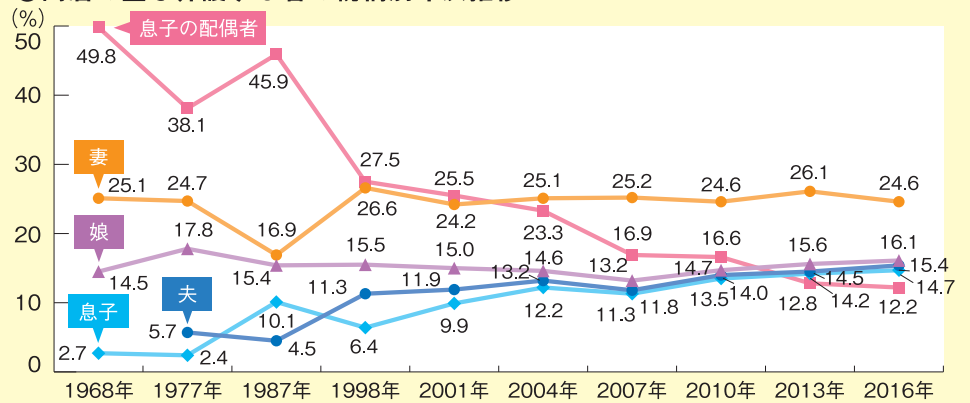


男女共同参画社会とは、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことをいいます。

あなたが家族を介護する未来を想像してみませんか？

超高齢社会を迎えた日本国内において、現在、家族の介護に従事しながら就労する男性の数は、約151万人。以前は、専業主婦の妻が夫の両親の介護をするものと思われてきました。しかし現在は、共働き世帯が急増しており、「親の介護は妻」という役割分担は成り立たなくなりつつあります。また、ライフスタイルの変化により、未婚のまま仕事を持ちつつ介護も主体的に関わっていかなくてはならない人も少なくありません。

●同居の主な介護する者の続柄別年次推移



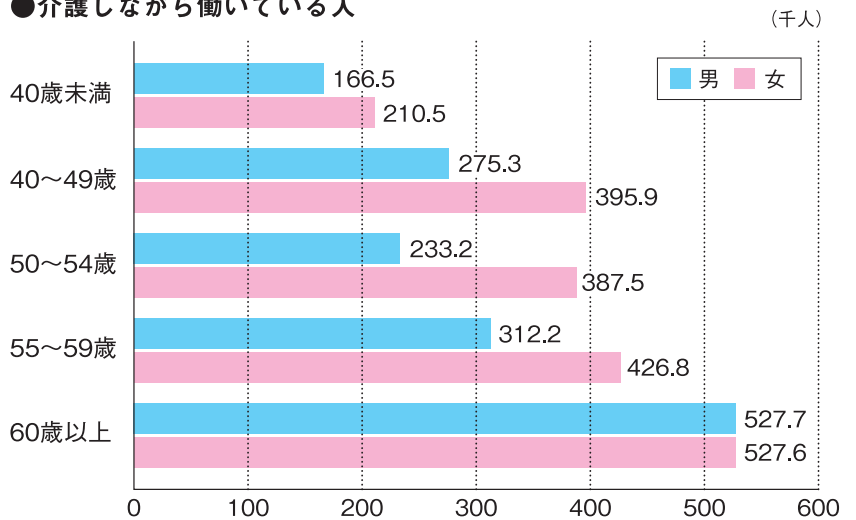
出所：1987年までは全国社会福祉協議会調査、1998年以降は厚生労働省の国民生活基礎調査世帯票より作成。いずれも「その他家族等」は除いているために各年の合計は「100%」とはなっていない。

介護する男性特有の問題

そのような中で、近年、介護する男性が抱える悩みや問題が、メディアに取り上げられることも増えています。仕事と介護の両立に困難をきたすケースをはじめ、家事や育児といった家庭内の役割を母や妻に任せてきた男性は、不慣れな炊事や、身体接触をともなう介護に強いストレスを感じる傾向にあります。また、これまで仕事中心の生活を送ってきた男性は介護を自分の「仕事」と捉えがちです。課された任務を全うしようと「介護にがんばりすぎる」ケースも少なくありません。



●介護しながら働いている人



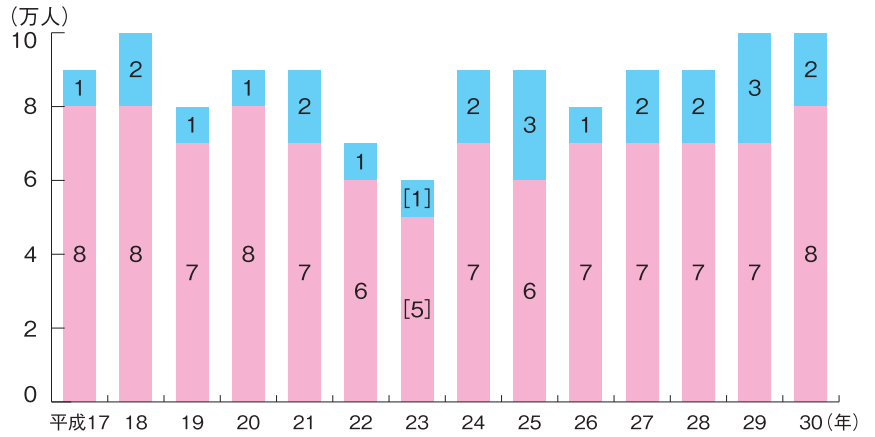
出所：総務省「平成29年度就業構造基本調査」

介護離職について



介護離職の中心層は40代から60代です。こうした年齢で介護に専念するために退職すると、安定した収入が閉ざされるということになります。中高年の会社員がいったん退職してしまったら、再び働くと思っても退職前と同等の条件の仕事に就くことはほぼ不可能であるといことは容易に想像がつくでしょう。親を看取った後の自分自身の生活を冷静に見据えることも大切です。また、働き盛りの年代の社員に辞められてしまうことは会社にとっても大きな損失となります。

●介護離職者数の推移



総務省「労働力調査(詳細集計)」より作成。前職が非農林業雇用者で過去1年間の離職者。平成23年の数値〔〕表示は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

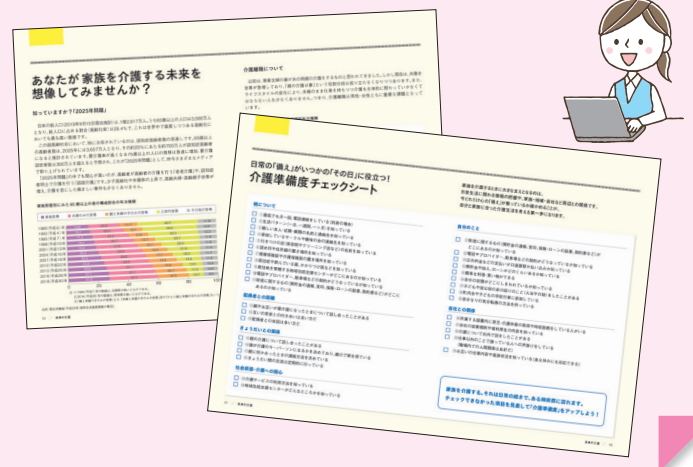
出所:「ひとりひとりが幸せな社会のために」(令和元年版)

現在30代・40代の男性で、両親や妻子、家族が健在の方にとっては、「介護は今のところ自分ごとではない」かもしれません。男性・女性を問わず仕事と介護の両立には、専門機関とよく相談しながら、自分と家族の生き方にあった選択を考えていく心のゆとりが必要です。

こうした「いつか、家族を介護する未来」に備えるために、介護啓発冊子『未来の介護』を作成しましたので、ぜひ参考にしてください。



姫路市 未来の介護



“あいめっせ”でお待ちしています。どなたでも、ぜひお越しください。

“あいめっせ”は
姫路城の南、
イーグレひめじの
3階です。

男女共同参画について、よく分からない、また疑問に思った方は、
“あいめっせ”と一緒に学んでみませんか。
“あいめっせ”では、男女共同参画社会について学ぶための講座を開催したり、
男女共同参画についての図書の貸し出しもしています。

“あいめっせ”から
最初の一步を♪

発行/姫路市男女共同参画推進課 発行日/令和2年(2020年)3月

〒670-0012 姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階

姫路市男女共同参画推進センター “あいめっせ”

TEL 079-287-0803 / FAX 079-287-0805

ホームページ 男女共同参画推進課 https://www.city.himeji.lg.jp/soshiki/4-1-2-0-0_1.html

あいめっせ https://www.city.himeji.lg.jp/soshiki/4-1-3-0-0_8.html

あいめっせ
I-messae